



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社 J T O W E R
 代表者名 代表取締役社長 田中 敦史
 (コード番号：4485 東証マザーズ)
 常務取締役 CFO
 問合わせ先 経営管理本部長 中村 亮介
 (TEL. 03 - 6447 - 2614)

業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

最新の業績動向を踏まえ、2020年5月12日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想の上方修正及び特別利益（持分変動利益）の計上につきまして、下記の通りお知らせします。

記

1. 2021年3月期通期業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	(参考) EBITDA*1	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,381	百万円 1,128	百万円 150	百万円 107	百万円 62	円 銭 3.02
今回修正予想 (B)	3,424	1,272	300	258	300	14.60
増減額 (B-A)	43	144	150	151	238	-
増減率 (%)	1.3	12.8	100.0	141.1	383.9	-
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	2,558	737	69	5	△13	△0.94

*1: EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+長期前払費用償却額

2. 修正の理由

前回発表予想（2020年5月12日公表）時点におきましては、緊急事態宣言の発令を受け、緊急事態宣言の対象期間が2020年6月末まで長期化する前提での工事の一時中断や、新築建物における個別事情によるオープン時期の延期等を踏まえ、国内 IBS 事業の導入物件の後ずれを最大6か月程度見込んでいました。しかしながら、当初想定よりも早い2020年5月25日に緊急事態宣言が終了し、その後は工事の一時中断等の影響は限定的であり、想定よりも順調に物件への導入が進んでいること、また、リモートワークの実施や採用の後ずれにより経費が減少していること等により、2021年3月期第2四半期累計期間時点で売上高及び損益ともに好調に推移しております。

2021年3月期下期については、タワー事業やローカル5G等に関する先行投資費用の発生は引き続き見

込まれ、連結子会社であった株式会社ナビック（以下、「ナビック」）が同上期末から持分法適用会社へ異動することで同社の売上高及び損益取込が減少する予定ですが、業績の進捗や、直近は新型コロナウイルスの影響は減少していることも踏まえ、新型コロナウイルスによる物件のサービス開始の後ずれ影響を保守的に一定程度織り込んだうえで、2021年3月期通期業績予想を再度算定した結果、前回発表予想に対して売上高及び損益ともに上振れを見込んでおります。また、2021年3月期第2四半期連結会計期間の連結財務諸表において、持分変動利益99百万円を特別利益として計上したことに伴い、修正後の通期業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益は238百万円増加することを見込んでおります。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

3. 特別利益（持分変動利益）の計上について

当社は、2020年8月26日付「連結子会社の第三者割当増資並びに当該連結子会社の異動に関するお知らせ」にて、ナビックが2021年3月期上期末時点で連結子会社から持分法適用関連会社に異動することに伴い、特別利益として持分変動利益が発生する見込みであることをお知らせしておりましたが、当社が2020年9月11日に実施した第三者割当増資に伴い、2021年3月期第2四半期連結会計期間の連結財務諸表において、持分変動利益99百万円を特別利益として計上することが確定したことをお知らせいたします。

上記、持分変動利益については、本日公表しました「2021年3月期 第2四半期決算短信」に反映しております。

以 上